

2023年3月期第3四半期 決算説明資料



2023年2月8日（水）

株式会社 **力ネ力**

目次

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
事業概況	3
貸借対照表	7
連結業績予想の修正	8

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	増減	
			金額	%
売上高	5,087	5,671	584	11.5%
営業利益	333	276	△ 57	△17.1%
経常利益	313	266	△ 47	△15.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	220	189	△ 31	△14.2%
1株当たり四半期純利益	337.55円	286.61円		

(世界経済の状況 — 景気が減速し不安定化 —)

- 世界経済はウクライナ問題を契機としたエネルギー・資源高騰、インフレ拡大、金融引き締めを背景に3Qは景気に急ブレーキがかかり、為替変動もあり不安定な情勢

(当社グループの業績 — 基盤事業が影響を受けるも、先端事業群は伸長 —)



セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高						営業利益					
	2023年3月期				前年同期比		2023年3月期				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%
Material SU	889	840	778	2,507	335	15.4%	108	79	38	225	△ 38	△14.5%
Quality of Life SU	450	422	438	1,310	49	3.9%	46	41	44	131	△ 7	△5.3%
Health Care SU	166	174	187	527	106	25.3%	39	37	45	120	36	42.3%
Nutrition SU	419	441	460	1,320	95	7.7%	8	13	23	44	7	20.4%
その他	3	2	2	8	0	0.3%	2	1	1	4	0	13.1%
調整額	-	-	-	-	-	-	△ 80	△ 85	△ 82	△ 247	△55	-
計	1,927	1,879	1,865	5,671	584	11.5%	122	86	68	276	△57	△17.1%

※SU : Solutions Unit

- 3Qは、欧米の建材・建築市場の低迷やアジアの塩ビ市況の下落、エレクトロニクス市場の需給調整など当社の一部のセグメントでは需要の減退や市況下落が続く、業績に大きく影響を与えることになりました。一方、先端事業群（Health Care SUなど）では、当社らしい差別化技術を使った新製品の販売が順調に拡大し、成長が加速しています。基盤事業群においては、Foam、Foodsは原料価格上昇に対する価格改定などでスプレッドの改善が進み、収益基盤を強化しました。事業ポートフォリオ変革が着実に進んでいます。

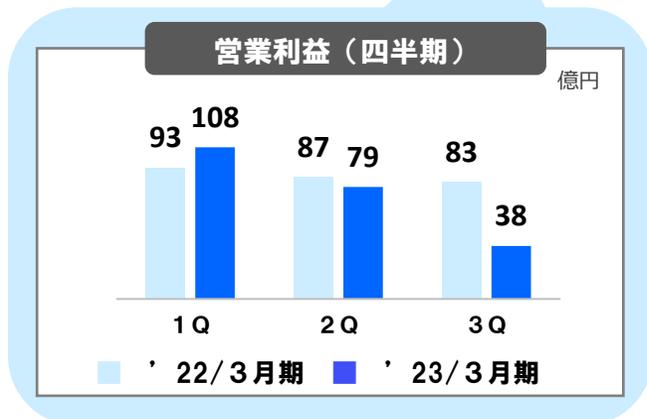
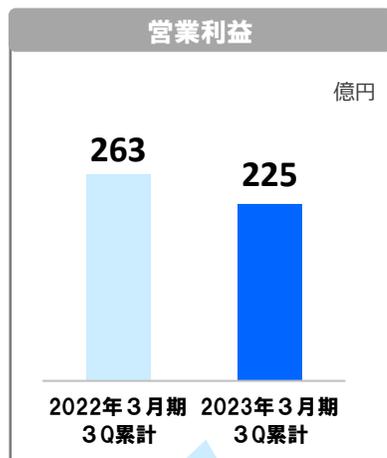
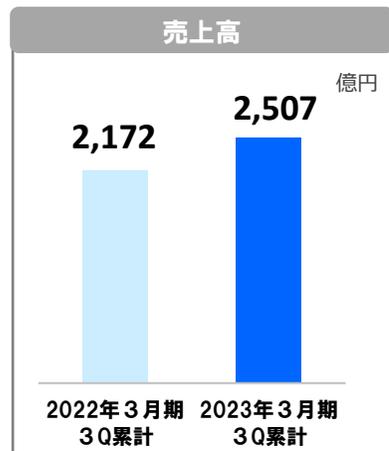


事業概況 (Material Solutions Unit)

売上高 2,507億円 (前年同期比 +15.4%)

営業利益 225億円 (前年同期比 ▲14.5%)

欧米、アジアの景気低迷の影響を強く受け、増収減益



Vinyls and Chlor-Alkali

- 3Qに入りか性ソーダは堅調
- 塩ビのアジア向け需要低迷、市況も低調に推移

Performance Polymers (MOD)

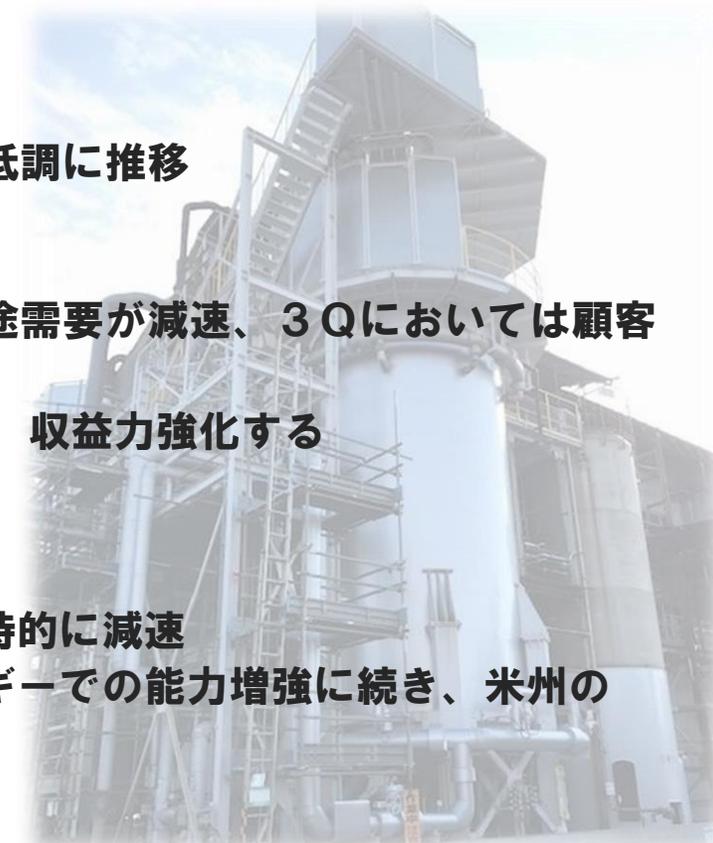
- 2Qから欧米の住宅向け硬質塩ビ用途需要が減速、3Qにおいては顧客の大幅な在庫調整が続き低調に推移
- R&B活動を非塩ビ用途拡大にシフト、収益力強化する
- 業績は3Qを底に回復基調に転じる

Performance Polymers (MS)

- 欧米の建築市場向け低迷、需要が一時的に減速
- 需要の基調は強く、昨年決定のベルギーでの能力増強に続き、米州の次期能力増強の検討急ぐ

Green Planet

- 日米欧の大手ブランドホルダーからの引き合い増加、共同開発拡大
- 国の重点政策「バイオものづくり」社会実装に向けて、CO₂と水素から生産する革新技術の研究開発に取り組む



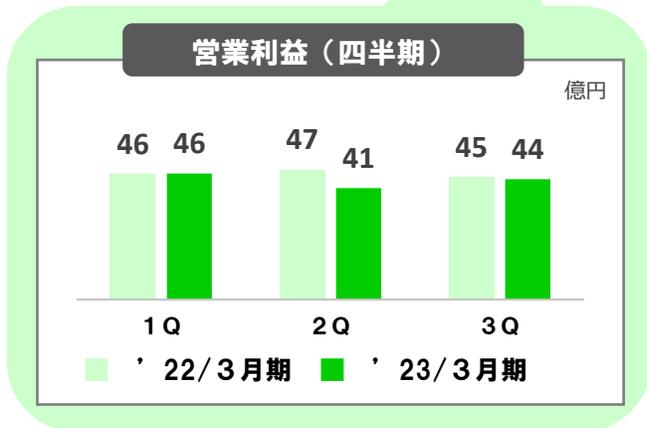


事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)

売上高 1,310億円 (前年同期比 +3.9%)

増収となるも、E&Iの需給調整の影響を強く受け、減益

営業利益 131億円 (前年同期比 ▲5.3%)



Foam & Residential Techs

- 価格改定が進み、国内向け販売堅調となり業績回復
- 海外の自動車向け需要も徐々に回復

PV & Energy management

- 世界的にエネルギー危機（電力不足）が問題となるなか、高効率PVへの期待高まる。今年度中にヘテロジャンクションPV増設ライン稼働させ、旺盛な需要に応える
- 東京都の新築住宅へのPV設置義務化等の動きが全国に拡大。PV引き合い活発化。各自治体と連携、自己託送、マイクログリッドなどCO₂削減の取り組みを推進
- 車載用PVを今春に本格的に出荷の予定

E & I Technology

- スマートフォン、大型TVの市場の大幅な需給調整続き、販売は前年下回る、4Q後半から需要回復を見込む
- 5Gやフレキシブルディスプレイ、画像センサー用途など当社ならではの差別化製品のラインナップに注力

Performance Fibers

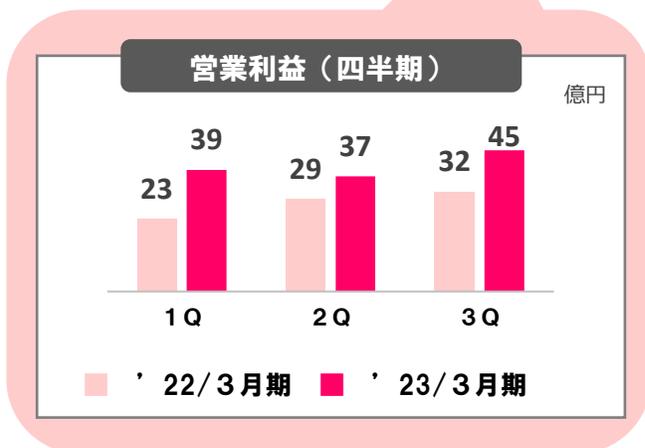
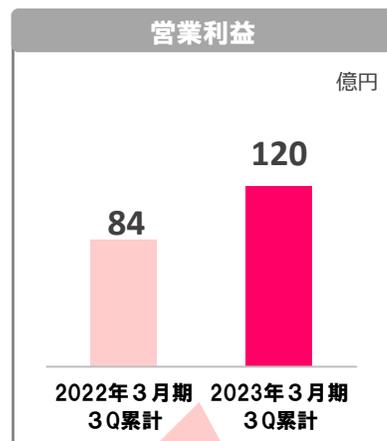
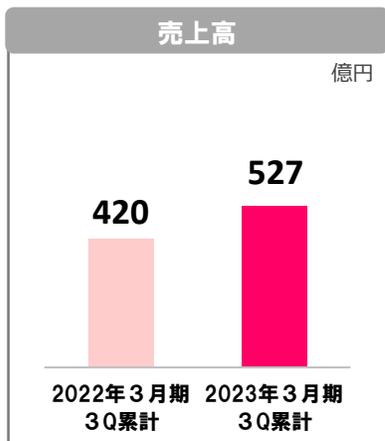
- アフリカや米国のインフレによる頭髮製品の一時的な需要減速、差別化製品の投入で拡大を図る



事業概況 (Health Care Solutions Unit)

売上高 527億円 (前年同期比 +25.3%)
営業利益 120億円 (前年同期比 +42.3%)

Medical、Pharmaとも業績好調により大幅な増収増益



Medical

- 新製品好調、血液浄化器、カテーテルの販売が国内外で拡大、全社業績を牽引
- 最大市場の米国市場の販売体制の強化を急ぎ、事業のグローバル拡大を加速
- 新型コロナPCR検査キットに続き、新型コロナ・インフルエンザ同時検査キットを発売予定

Pharma

- バイオ医薬品事業が順調に拡大、全社業績を牽引しているSVの1つ
- カネカユーロジェンテックで、感染症ワクチンに加え遺伝子疾患やがんなどの治療薬用で高成長が期待されるmRNA製造能力増強を決定し、飛躍的な成長に向けて事業基盤を拡充
- 低分子医薬では、新型コロナ治療薬「ゾコーバ[®]*1錠」への中間体販売が軌道に乗り、増販を計画

*1 「ゾコーバ」は塩野義製薬株式会社の登録商標です。

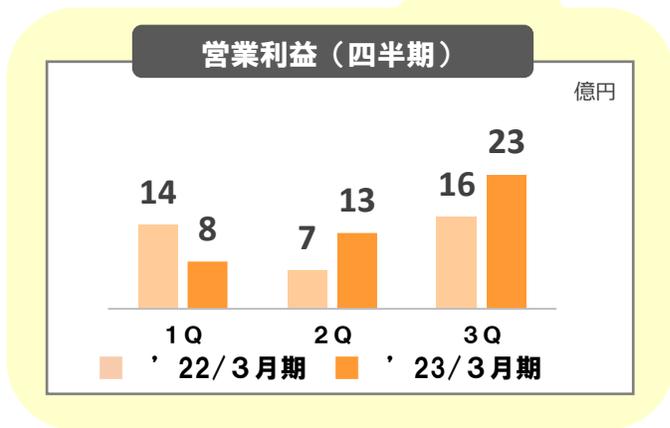
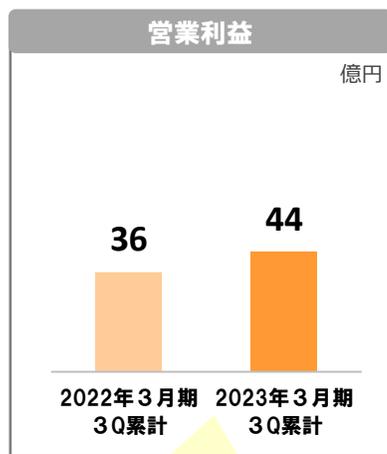
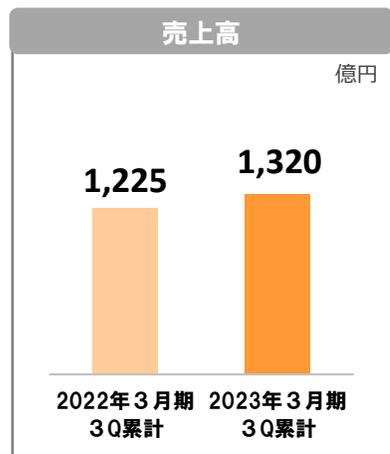


事業概況 (Nutrition Solutions Unit)

売上高 1,320億円 (前年同期比 +7.7%)

営業利益 44億円 (前年同期比 +20.4%)

Supplement拡大 Foods回復、増収増益

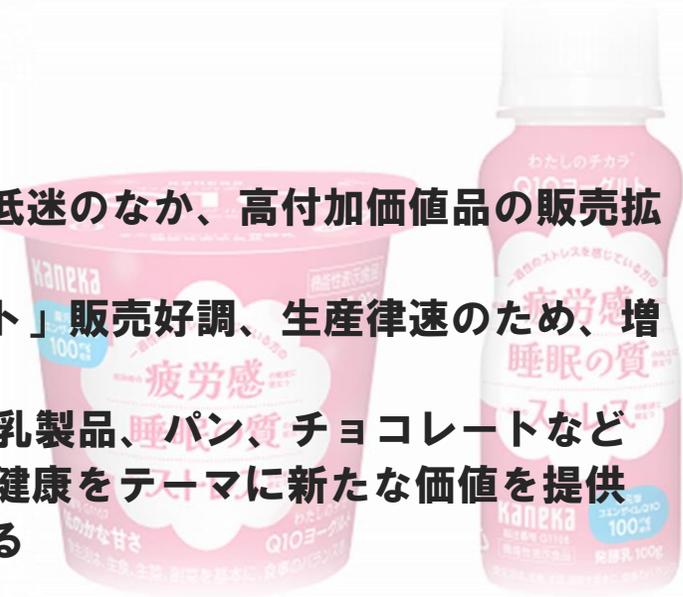


Supplemental Nutrition

- 還元型Q10の販売がアメリカ、日本に加え欧州・オセアニア・アジア（中国）で拡大、増産の検討を急ぐ
- 乳酸菌事業の拡大を受け、グローバルな生産販売体制の強化を進める
- 機能性表示食品の品揃えを強化

Foods & Agris

- 食品全般の値上げが広がり、需要低迷のなか、高付加価値品の販売拡大と価格改定に注力、業績が拡大
- 「わたしのチカラQ10ヨーグルト」販売好調、生産律速のため、増産体制の1stステップ完工
- カネカ食品のECサイト立ち上げ、乳製品、パン、チョコレートなどBtoC商品販売を強化。おいしさと健康をテーマに新たな価値を提供できる取組みの大きな仕掛けとなる





貸借対照表

(単位：億円)

	2022年3月末	2022年12月末	増減
資産の部			
流動資産	3,629	4,029	400
固定資産 等	3,640	3,857	217
資産合計	7,270	7,887	617
負債の部			
有利子負債	1,276	1,542	265
その他	1,871	2,072	201
負債合計	3,148	3,614	467
純資産の部			
自己資本	3,872	4,086	214
非支配株主持分 他	251	187	△ 64
純資産合計	4,122	4,273	151
負債、純資産 合計	7,270	7,887	617
自己資本比率	53.3%	51.8%	
D/Eレシオ	0.33	0.38	
1株当たり純資産	5,934.36円	6,207.96円	

- 総資産は、売上高増加に伴う売掛金および棚卸資産の増加、設備投資拡大による有形固定資産の増加等により増加
- 負債は、借入金の増加等により増加
- 純資産は、利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により増加



連結業績予想の修正

(2023年3月期の連結業績見通し)

- 本年1月のIMFの世界経済見通しは、2022年GDP成長率予想を3.4%に上方修正しました(昨年10月予測3.2%)。世界経済は、中国経済の早期の回復や米国・欧州の景気減速の緩和、自動車生産やエレクトロニクス市場の需給調整の底打ちなど回復材料も想定されますが、当面は景気の減速基調が続き、不透明感が強い情勢の見通しです
- 4Qからの明るい兆しが見えるものの、3Qまでの業績を踏まえ、2022年11月9日公表の連結業績予想を修正します
- 配当金は当初予想を据え置きます

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		増減	
	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	6,915	7,600	7,560	645	△ 40
営業利益	436	400	365	△ 71	△ 35
経常利益	408	390	340	△ 68	△ 50
親会社株主に帰属する 当期純利益	265	270	240	△ 25	△ 30
1株当たり当期純利益	406.01円	410.05円	364.67円		
1株当たり配当金	110円	110円	110円		

【前提条件】 為替レート：130円/米ドル、140円/ユーロ 国産ナフサ価格：71,500円/KL

- 自己株式取得 230万株（取得額上限100億円、取得期間2022年9月12日～2023年3月24日）の自己株式を取得中



連結業績予想の修正（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2022年 3月期	2023年 3月期		増減		2022年 3月期	2023年 3月期		増減	
	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	2,999	3,400	3,356	357	△ 44	364	310	283	△ 81	△ 27
Quality of Life SU	1,691	1,750	1,739	48	△ 11	169	170	164	△ 5	△ 6
Health Care SU	589	710	707	118	△ 3	127	160	163	36	3
Nutrition SU	1,626	1,730	1,748	122	18	51	68	76	25	8
その他	11	10	10	△ 1	-	5	5	5	-	-
調整額	-	-	-	-	-	△ 280	△ 313	△ 326	△ 46	△ 13
計	6,915	7,600	7,560	645	△ 40	436	400	365	△ 71	△ 35

※SU：Solutions Unit

- 4Qの業績は、Health Careが引き続き強い成長モメンタムを継続し、Medical、Pharmaが業績を牽引します。Foods & Agris、SupplementのNutritionも増益を維持する見通しです。3Qまで業績の停滞の主要因となったMaterialsおよびE&Iについては需要環境が改善し、販売の回復が見込まれます。4Qは、全セグメントにおいて業績が上向きとなるモメンタムを想定しています

<IRに関するお問い合わせ>

IR・広報（Investors & Public Relations）部

TEL：03-5574-8090

株式会社 **カネカ**